

は じ め に

昭和45年10月、当時の4保健所試験室を統合して、衛生試験所として発足して以来、ここに20周年を迎えることになりました。

この間の多くの諸先輩の皆様の御労苦並びに関係各位の当所に対する御理解と御協力に対し、深く感謝を申し上げる次第であります。

開所当時は人員も少なく、設備、機器類も不十分でありましたが、所員一同のたゆまぬ努力により、今日の基礎を築いてまいりました。

その後、公害問題、食品公害問題の急激な展開により、当所の試験検査業務も飛躍的な増大に見舞われ、これらに対応すべく若干の組織変更と増員を行ってきました。

しかし、近年の急激な社会情勢の変化に伴う保健衛生、環境保全上の課題、例えば、「エイズなどの新たな感染症」、「輸入食品の農薬汚染や放射能汚染」、「自動車排ガスによる大気汚染」、「地下水の化学物質による汚染」などの問題が、福岡市にとっても、重要な課題となりつつあります。

これら保健・環境上の諸問題に対応していくためには、現在の衛生試験所では十分とは言えません。

そこで、保健・環境行政の諸施策を科学的、技術的に支えていく中核的試験研究機関として、当所を抜本的に見直す必要に迫られてきました。

したがって、広く学識経験者の意見を求めるため、本年6月に「福岡市保健環境科学センター（仮称）拡充整備構想検討委員会」が設置されました。

この委員会において、現在の衛生試験所の問題点を、試験検査、調査研究業務等のあり方、施設の位置づけ、組織・機構・人員のあり方など、あらゆる角度から検討をしていただきました。そして、今後の福岡市にとって必要な「保健環境科学センター」（仮称）のあるべき姿について、その拡充整備の指針として、「基本構想」がまとめられました。

当所は、この拡充整備計画の一環として、本年3月に仮庁舎へ移転しました。今後は、市民の健康を守り、環境の保全に役立つ「保健環境科学センター」（仮称）の設立を目指し、新庁舎建設を推進していく所存であります。

日頃、技術の向上に努めております所員のささやかな成果として、平成元年度の業務概要と調査研究並びに創立20周年にあたるため、あわせて20年のあゆみを記し、所報第15号として発刊いたします。

御高覧いただき、皆様方のご指導とご鞭撻を賜れば幸いに存じます。

福岡市衛生試験所長

佐藤泰敏